

H12

問19 日本工業規格 (JIS K 0095) による煙道排ガス成分の濃度測定を行うための試料採取方法と装置に関する次の記述のうち、不適切なものを1つ選べ。

- 1 採取管の先端の形状は、ダストの混入を少なくすることを考慮して設計されている。
- 2 試料ガス採取量の値は、湿りガス量として計算した場合と、乾きガス量として計算した場合とでは、一般に異なる。
- 3 冷却導管部には、気液分離管及びその下部に凝縮水トラップを設ける。
- 4 絶対圧とゲージ圧の差は、大気圧である。
- 5 煙道の断面形状が変化している部分は、ガスの混合がよいので試料採取に適している。

H13

問19 日本工業規格 (JIS K 0095) による排ガス中の有害ガス成分を分析するための採取管・導管の材質について、以下の使用例の中で、誤っているものを一つ選べ。

ガス成分	採取管・導管の材質
1 ふっ化水素	シリカガラス
2 窒素酸化物	ステンレス鋼
3 アンモニア	ステンレス鋼
4 硫黄酸化物	シリカガラス
5 メルカプタン	四ふっ化エチレン樹脂

H14

問19 排ガス試料採取方法 (JIS K 0095) に関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選べ。

- 1 バイパス管は、試料採取に先立って試料導管中を試料ガスで置換する役割がある。
- 2 一般にボイラ排ガスでは、成分ガスのダクト内濃度分布は均一であることが多いので、測定点は少なくともよい。
- 3 煙道の断面形状が急激に変化している部分は、採取位置として適切ではない。
- 4 採取口は、ダクト内の排ガス流に対して、ほぼ直角に採取管を挿入できるような角度とする。
- 5 試料ガス中の水分が多く、露点の高いガス成分を採取する場合は、採取管及び導管を冷却する必要がある。